

第1回 少数性生物学 トレーニングコース

開催日程: 2013年7月28日(日)~8月10日(土)

開催場所: 大阪大学 産業科学研究所

概要: 生体内で起こる少数分子によって引き起こされる現象を解明するために必要な顕微鏡観察技術(1分子観察、超解像顕微鏡)やデータ解析技術(画像解析、時系列データ解析)を講義・実習・フライングを通して修得する。

受講対象: 少数性生物学に興味を持つ、大学院博士後期課程の学生、ポスドク、助教等 16名程度

主な実習内容

1. 単レンズを組み合わせた透過・蛍光顕微鏡作製
2. LabView を用いた機器制御
3. TIRF 顕微鏡の自作と1分子イメージング
4. PALM顕微鏡の自作と超解像イメージング
5. ImageJ 等のソフトウェアによる画像処理
6. イメージングデータからのデータマイニング
7. 分子・細胞レベルのモデリングとシミュレーション

市販の顕微鏡に飽き足らない人!

超解像観察を格安でやりたい人!

少数性生物学に興味のある人!

講師陣 新井由之(阪大 産研) 石島秋彦(東北大 多元研) 市村垂生(理研 QBiC) 伊東克秀(浜ホト(株))
今田勝巳(阪大 理) 鶴飼英樹(理研 QBiC) 岡田康志(理研 QBiC) 小松崎民樹(北大 電子研)
高橋恒一(理研 QBiC) 谷口雄一(理研 QBiC) 富樫祐一(神大 システム) 永井健治(阪大 産研)
野地博行(東大 工) 藤田克昌(阪大 工) 前島一博(遺伝研) 三浦耕太(EMBL Heidelberg)
柳田敏雄(理研 QBiC) 渡邊朋信(理研 QBiC)

必見!

申込期間: 2013年6月10日(月)~6月28日(金) 必着

参加費: 50,000円 程度 (食事代は別途)

(前半のみ参加 35,000 程度、後半のみ参加 15,000 程度 但し、全日程参加される方を優先します)

申込方法: 以下の web site をご覧下さい。

<http://paradigm-innovation.jp/trainingcourse/index.html>

主催: 文部科学省科学研究費補助金 新学術領域

「少数性生物学-個と多数の狭間が織りなす生命現象の探求-」

領域代表: 永井健治